

JAB MS110:2019 第1版 D2 へのパブリックコメント及び処置

No.	コメント 提出者 (敬称略)	条項 No.	行 No.	コメン ト区分	コメント内容	提案	MS 技術委員会処置 (凡例 ○:採用、△:修正等、×:不採用)
1	SGS ジャパン 認証・ビジ ネスソリュ ーションサ ービス	6.1.1～ 3	1	T	ESMS 有効要員について「ESMS 要求事項を満たすことに積極的に寄与する人々とする」とありますが、表現が抽象的であり、幅が広すぎると思われます。また実際は人数だけで工数を決定することはありません。イベントの準備期間も含めたイベントプロジェクト全体の期間を考慮することが必要であると考えております。	イベントの数（単独イベント or 複数イベント）、イベントの種類、実施場所（陸上 or 水域、屋内 or 屋外）、組織人員のほかサプライヤーの人数も考慮の上で、個々の状況に応じて調整すべきであると考えております。	○ 頂いた提案は、6.1.1 に追加反映いたします。 c) イベント数（単独イベント 又は複数イベント） e) イベント実施場所（陸上（屋外又は屋内）、又は水域）尚、サプライヤーについては 6.1.3 注記 2 に反映いたしました。
2	SGS ジャパン 認証・ビジ ネスソリュ ーションサ ービス	6.1.6	全般	T	ESMS の複雑さのカテゴリ「High」「Medium」「Low」とありますがこれも抽象的であると考えます。	上記 1 に示した要素を複雑さの考慮事項として反映することがよいと考えております。	○頂いた提案を ESMS の複雑さの要素として考慮するように修正いたしました。
3	SGS ジャパン 認証・ビジ ネスソリュ ーションサ ービス	6.1.6	全般	T	審査工数の調整時の追加要因が非常に抽象的であり、また「EMS を取得している」というだけでは削減要因として十分とは言えないと思われま	所在地の複雑さ、早朝夜勤業務、イベント特有の持続可能性の問題の有無によって工数増加があると考えます。イベントを持続させるには、環境に配慮しつつ、社会面(地域の理解及び発展、安全への対策)と経済的に成り立つか、が重要な項目と考えており、QMS や OHS も重要と考えます。マネジメントシステムの成熟性によって工数減も考えられます。	○ イベントの実施場所、イベント特有の課題等、早朝及び夜間のイベントの実施等、考慮の上、反映させていただきます。また、環境のみならず、他のマネジメントシステムを運用している場合等も踏まえ、既存のマネジメントシステムによる成熟性も削減の際の考慮とすることいたします。

注：コメント区分には、必ず「G（全般に関するコメント）」、「T（技術的コメント）」、「E（編集上のコメント）」又は「Q（質問）」の区分をご記入ください。

No.	コメント 提出者 (敬称略)	条項 No.	行 No.	コメン ト区分	コメント内容	提案	MS 技術委員会処置 (凡例 ○：採用、△：修正等、×：不採用)
4	SGS ジャパン 認証・ビジ ネスソリュ ーションサ ービス	6.1.8	全般	Q	審査範囲の決定 組織の活動において審査範囲から除 外される要素がなく、イベントに関 連するすべての要素が審査範囲に含 まれる場合は、当該条項に記載され たような「…イベント会場や仮施設 」などの詳述は不要と考えていい でしょうか。		同様の理解かと思いますが、イベント運営でサ ステナビリティの設定から会場や仮施設な どが除外されている活動がない場合は、 JIS17021-1 9.2.1.3 要件通り、審査範囲には、 審査の対象となる事業所、組織の単位、活動及 びプロセスのような、審査の範囲及び境界を記 述しなければなりません。

注：コメント区分には、必ず「G（全般に関するコメント）」、「T（技術的コメント）」、「E（編集上のコメント）」又は「Q（質問）」の区分をご記入ください。